



# スマイル通信

08.

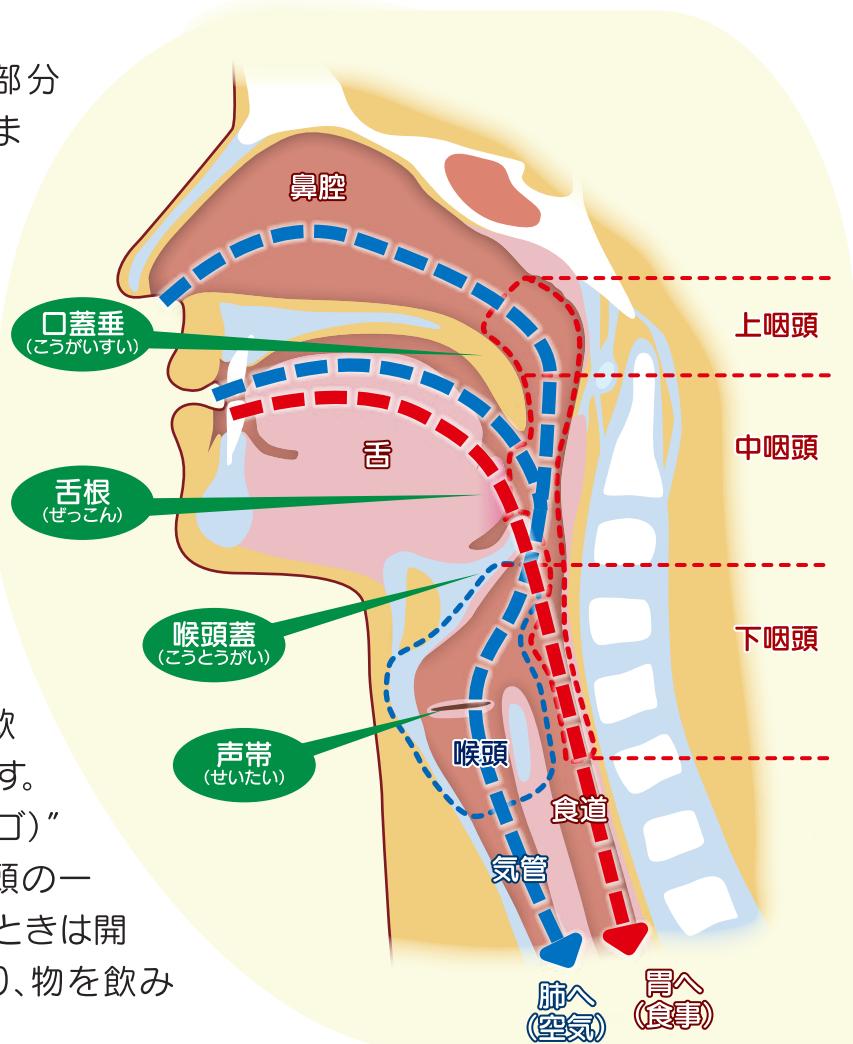
2019年10月号

## 第8回目のスマイル通信です。今回はのどの話をします。

私たちの診療科は“耳鼻いんこう科・頭頸部外科”が正式な名称ですが、この“いんこう科”つまり咽頭(いんとう、図:赤い点線の枠)・喉頭(こうとう、図:青い点線の枠)について。

咽頭は、鼻・口から続く部分で、喉頭や食道につながります。大まかに口蓋垂(こうがいすい)、舌根(ぜっこん)、舌の付け根)を境にして、上咽頭(じょういんとう)、中咽頭(ちゅういんとう)、下咽頭(かいんとう)と区分されています。口から診察した場合は、主に中咽頭しか、診察できません。

喉頭は、外側の枠組みは軟骨で、内部には声帯があります。“のどぼとけ(アダムのリンゴ)”と言われている部分は、喉頭の一部です。声帯は息をしているときは開いていますが、声をだしたり、物を飲み込むときには閉じています。



咽頭・喉頭の動きは、食事や空気の通り道、声をだす、といったところでしょうか。

私たちが食事をするときに食べ物は、口から咽頭を通って、後方の食道、胃へと流れていきます(図:赤い矢印)。一方、息を吸うときに空気は、鼻や口から、咽頭を通って、前方の喉頭、気管、肺へと流れていきます(図:青い矢印)。息を吐くときには、この逆の流れです。つまり咽頭は、食べ物(後方へ)と空気(前方へ)が交差する大切な場所です。

私たちが食べ物を食べるときには、1)食べ物が鼻に逆流しないように、口蓋垂が上にあがって蓋をします。2)食べ物が喉頭や気管に入らないように、舌根が下がり、喉頭が上がり、喉頭蓋(こうとうがい、喉頭上方にある薄い軟骨)が、喉頭に蓋をして、声帯も閉まります。3)食べ物が食道へ入りやすくするために、食道の上の部分の筋肉が緩くなります。このような動きを意識せずに一瞬で行っています。咽頭や喉頭に何かしらの病気があると、飲み込みにくくなったり、食べ物が気管に入って咳き込んだりします。心配な方は早めに相談してください。

声を出す働きや、咽頭や喉頭の病気についても、いつかスマイル通信で話をしますね。

## スギに対する舌下免疫療法の開始時期は12月末までです

スギ花粉症患者さんに対する舌下免疫療法は、スギ花粉が飛散している(例年2月から4月)時期には開始できません。当クリニックでは、スギ花粉症患者さんに対する舌下免疫療法の開始時期を毎年5月から12月末まで、としています。今年のスギ花粉症の症状はかなり強い方が多かったと思います。体質改善を希望される方は、ぜひ早めに相談してください。

### 当院指定の駐車場に関して

当院指定駐車場は、当院横2台(体がご不自由な方優先)、吉田駐車場2, 3, 4, 5, 6, 7, 19, 20, 21番の9台、大野方向変換場駐車場(旧市営駐車場)1, 2, 4, 5, 14番の5台の合計16台分です(15番は違います)。他の場所に駐車して、ご迷惑をおかけしないように、ご協力お願いします。

### ● アクセス



### ● 駐車場マップ



〒857-0136 長崎県佐世保市田原町17-10

**TEL.0956-76-7379** FAX.0956-76-7363

たかさきクリニック <http://takasaki-clinic.org> HPはこちら→

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00～午後12:30 受付は 午後12:15まで	○	○	○	○	○	○
午後2:30～午後6:00 受付は 午後5:45まで	○	○	/	○	○	/

《日曜・祝日 休診》



当日の順番予約と  
診察待合状況の  
確認はこちらから→

